

1. 研究課題名

ストーマ閉鎖時における腹壁癒痕ヘルニア予防目的に施行した二層閉鎖法 の術後疼痛を加味した検討

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、二層閉鎖法が従来の一層閉鎖法と比較し、術後疼痛の軽減に寄与するかを後方視的に把握することを目的としています。

研究期間は承認日から 2028 年 12 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2011 年 1 月～2026 年 4 月に施行したストーマ閉鎖例を対象としています。2025 年 5 月より二層閉鎖法を導入しており、一層閉鎖法（一層群）と二層閉鎖法（二層群）を比較しています。比較項目は患者背景、手術因子、硬膜外麻酔の有無、在院日数、癒痕ヘルニア発生頻度、術後点滴鎮痛薬の使用 回数などです。個人が特定されない形で解析されるので、個人が特定されることはありません。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 大腸肛門外科 豊島 明（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604

担当：大腸肛門外科 豊島 明